

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プロアマ・レイダー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：プロアマ・レイダー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

比較対照ボール：ブラック・インベダー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

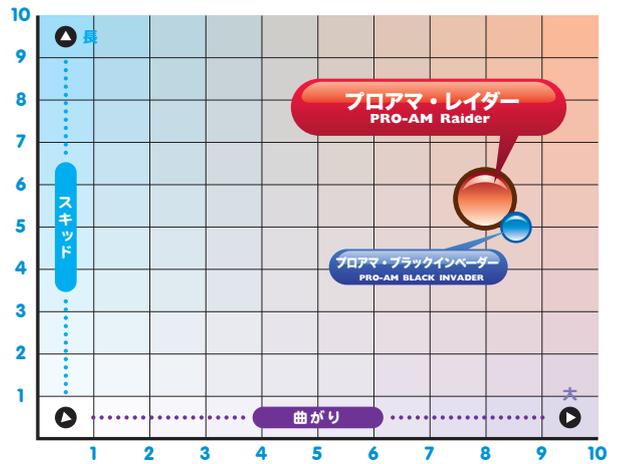
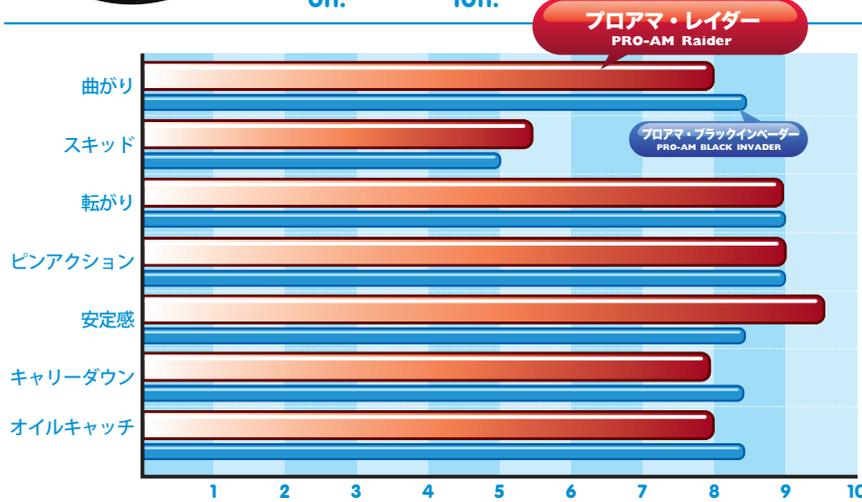
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

昨年11月PRO-amモデルでINVADER MULTIが発売、続くBLACK INVADERも発売前・再入荷もバックオーダー分で完売という、想像を上回るビックセールスを続けているINVADERシリーズ。そして今回新たなブランド、脅威のDNA(INVADER)を受け継ぐ”Raider”を発表致します。何と言っても特徴はABSの為だけに作られたユニークで独創的なToro(灯籠)2.52 Coreでしょう。そのコアをControl 6.0Pカバーストックで纏い、INVADERシリーズと一線を介するコントロール重視の性能に仕上げるのがRaiderの開発コンセプトです。このRaider開発の経緯は、アグレッシブなバックエンドを信条とするINVADERでは激しさでラインが不安定になる要素が強く、契約プロ及び多くのボウラーから質の高い安定した奇跡を望む声が多く、スキッドからフック・ロールに至るまで接地面と安定したコンタクト取れる”実”の攻め方ができるボールの開発。その第一弾がこのRaiderです。私は気持ち良いほどのスキッドから鋭い入射角の取れるINVADERも好きですが、このRaiderのようにピンヒットまでの曲がりのイメージがロール開始時から見えるような安定した軌跡が非常に気に入っています。それもBLACK INVADERのカバーをケミカルチューンしてコントロール性能を高めたことで、非常に高いレベルでのスキッドとキャッチとのバランスを感じて頂けると思います。今回このRaiderを発売することで攻撃的にラインを攻めるINVADERか、コントロール重視のラインを攻めるRaiderか、PRO-amモデルで二種の選択ができ、トーナメントボウラーからフランチャイズユーザーまでこの先PRO-amモデルのニーズはさらに拡大するでしょう。

特記事項

日本オリジナルコアとBLACK INVADERケミカルチューンのControl 6.0Pカバーストック搭載のRaider。キレを演出するINVADERと一線を介した、コントロール重視の実のある性能を是非お試しください。